

古津軽の神まつり



乳穂ヶ滝水祭

西目屋村 乳穂ヶ滝

2月の第3日曜日、冬の寒さで結氷した高さ33mの水柱を背景に、稲束を燃やして燃え具合で津軽地方の豊凶を占います。

お山参詣

岩木山神社

岩木山神社

鬼沢地区 鬼神社

江戸時代から続く、鬼神社の旧正月の伝統行事。ふんどし姿で境内で冷水の樽に入り心身を清め、地区内をしめ縄やお神酒、供え餅を担いで練り歩きます。

相馬地区 沢田神明宮

沢田ろうそく祭

旧暦小正月(1月15日)に行われる約450年以上の歴史がある奇祭。天然のほこらの中に立てられたろうそくが幻想的。ろうそくの溶けた形で豊凶を占います。

獅子舞・獅子踊

五穀豊穡・無病息災を願って津軽各地で獅子舞・獅子踊が行われています。

鬼沢地区では旧暦5月29日や旧暦9月15日。石川地区では、5月3日に石川大仏公園、7月15日には八幡宮にて奉納されます。

お山参詣は、五穀豊穡と家内安全を祈願して、岩木山神社に集団登拝する旧暦8月1日を最終日とした3日間の行事です。最終日は未明から山頂に登り、ご来光を拝みます。

猿賀神社の旧暦8月14日(十五夜大祭)では津軽一円の獅子踊が集まる大会が行われます。

七日堂祭

津軽の七日堂祭は、農作物の作柄や天候を占う年の初めの行事。岩木山神社と猿賀神社では旧暦1月7日。鬼神社では旧暦1月29日。柳の枝を床に打ちつけて作物の豊凶を占います。

大川原の火流し

黒石市 大川原地区

650年以上続くと言われていた大川原の火流しは、お盆8月16日の夜、アシガヤを編み上げた帆柱の舟に火を付けて掛け声を発しながら川を下ります。南北朝時代に戦死した魂の精霊流しが起源とされます。

アクセス

- ① JR「弘前駅」⇒弘南バス(岩木庁舎線・枯木平線)「岩木山神社前」バス停下車
- ② JR「弘前駅」⇒弘南バス(弘前～西目屋村役場線)「西目屋村役場前」バス停下車徒歩約12分
- ③ 開催日には、JA相馬村湯口支所より往復シャトルバスあり
- ④ JR「弘前駅」⇒弘南バス(鱸ヶ沢線・堂ヶ沢線)「鬼沢」バス停下車 徒歩5分
- ⑤ 弘南鉄道大鰐線「石川駅」⇒徒歩約5分
- ⑥ 弘南鉄道大鰐線「石川駅」⇒徒歩約10分
- ⑦ 弘南鉄道弘南線「津軽尾上駅」⇒徒歩約20分
- ⑧ 弘南鉄道弘南線「田舎館駅」⇒徒歩約6分
- ⑨ 東北自動車道黒石IC⇒車で約20分

※この地図は2025年2月に作成されたものです。地図の縮尺と距離は実際とは異なります。訪れる際は住所等を参考にしてください。